

## 新広告「ゆうちゃん。」概要

### コンセプト

ゆうちょは、全国津々浦々、約 24,000 の郵便局ネットワークを通じ、お客さまにとって「安心・信頼してご利用いただける、最も身近で信頼される銀行でありたい」と考えています。

社会人になった時、家族が増えた時、年を重ねた時など、いつでもどこでも、必要な時に一番近くで支えられる存在でありたい、その“普遍的な想い”を『いつもここに。』というメインコピーで表現しています。

### 見どころ

#### 【突然登場する「ゆうちゃん」に注目！】

今回、新イメージキャラクターには、1人で企業ブランディングを担える存在感・品格・誠実さを兼ね備えている「本木 雅弘さん」を起用しました。

新広告では、普段はスマートなイメージの本木さんが、親しみやすく、お茶目なキャラクター「ゆうちゃん」をコミカルに演じています！

テレビ CM は、4 シリーズを放送します。

タイトル	テーマ
「登場」編	ゆうちょの化身「ゆうちゃん」登場
「娘の結婚相手」編	ずっとお客さまの人生に寄り添うという企業姿勢（企業メッセージ）
「父の単身赴任」編	全国 24,000 のネットワーク（利便性）
「母からの電話」編	はじめての投資信託なら、ゆうちょ銀行・郵便局で（商品性）

新 CM で描かれるのは、何気ない日常のワンシーン。「娘の結婚相手」「父の単身赴任」「母からの電話」など、ドキュメンタリータッチで描かれたそれぞれの家族の中に、突然「ゆうちゃん」が登場。緊迫した空気の中の一言、駅で泣きじゃくる姿、カラオケボックスでノリノリに踊る姿など、さまざまな「ゆうちゃん」にご注目ください。

#### 【ゆうちゃんと豪華な共演者】

ゆうちゃん役の「本木 雅弘」さんのほかに、各シリーズそれぞれに、豪華キャスト多数出演。映画のような家族の演技も魅力のひとつです。監督は、CM だけでなく映画『告白』で日本アカデミー賞など受賞多数の「中島 哲也」さん。豪華なスタッフが集結しました。

### 実施スケジュール

項目	実施期間	概要
テレビ CM	6/13(月)～7/3(日)	全国地上波で放送
	6/14(火)～	当行提供番組において放送 ■日本テレビ系列 29 局ネット「1億人の大質問? 笑ってコラえて!」水曜日 19:56～20:54 ■日本テレビ系列 28 局ネット「満天・青空レストラン」土曜日 18:30～19:00 ■日本テレビ系列 29 局ネット「シューイチ」日曜日 7:30～9:55 ■テレビ東京系列 6 局ネット「ニュースモーニングサテライト第 2 部」月～金曜日の隔日 6:00～6:40
ラジオ CM	6/19(日)～	日本郵政グループの提供番組(FM ラジオ)において、ラジオ CM を放送(60 秒) ■TOKYO FM他JFN全国 38 局ネット「日本郵政グループ presents ジャパモン」毎週日曜 13:00～13:55(FMぐんまのみ 毎週日曜 8:00～8:55)
WEB広告	6/13(月)～7/3(日)	YouTube で動画広告を順次実施(CM 動画を放送)
新聞広告	6/14(火)	テレビ CM と連動した広告を掲載(日本経済新聞 全国版・カラー・15 段広告)
駅構内デジタルサイネージ	6/13(月)～6/26(日)	関東エリア、近畿エリアの主要駅で順次放送
車内ビジョン	6/13(月)～6/30(木)	関東エリア、近畿エリアの主要路線で順次放送
YouTube ゆうちょ公式チャンネル	6/13(月)～	テレビ CM(全シリーズ)を公開

# ■ テレビCM 「ゆうちゃん。」

## 登場編 (15秒)



ゆ「はじめまして」



ゆ「ずっと見てますから」



(父の単身赴任編)  
父「ゆうちゃん」



(父の単身赴任編)  
娘「ゆうちゃん」

(娘の結婚相手編)  
娘「ゆうちゃん」



(母からの電話編)  
友人達「お役に立ちます」



「ゆうちゃん」

(母からの電話編)  
友人達  
「ゆうゆうゆうゆう」



(娘の結婚相手編)  
彼氏「だれ？」

ゆ「ゆうちゃん」



ゆNA「いつもここに。」



ゆNA「ゆうちょ」

## 娘の結婚相手編 (15秒・30秒)



彼氏「み、美香さんと」

娘「父ちゃん」



ゆ「結婚したいんですよ？」



父「あんた、稼ぎは」

娘「お金とか…」



母「大事よ」

ゆ「大事です」



父「一生、娘食わせられるんか？」

ゆ「すげえ食べるし」

母「ゆうちゃん(笑)」

父「無理だな」



彼氏「で、でも俺！」

ゆ「ま、歴代の彼氏じゃ一番」

父「れき!?!」

彼氏「歴代!?!」



ゆ「ずっと見てるから、美香さんのこと  
ずーと」

彼氏「…だれ？」

ゆ「ゆうちゃん」



娘NA「それは、私のために父が  
作った…」

父「通帳だ、もってけ、そいつと一緒に」



ゆ「少ないけど」

ゆNA「家族のように、ここに  
ゆうちょ」

## 父の単身赴任編 (30秒)



母「忘れ物は？」  
娘「飲みすぎちゃだめだよ」  
ゆ（泣き声）



父「まあ、休みには帰るし」  
母「洗い物溜めないように」



娘「ゆうちゃん」  
父「大げさだなあ」  
ゆ「だって！」



母「嬉しそうねあなた」  
娘「なんか怪しい」  
ゆ「大丈夫、お父さんはモテません！」  
ゆ「お父さん！！」



父「一人暮らしか…」



隣人美女「あ」  
父「ども」  
隣人美女「ども」



父「あれ…」  
ゆ「はじめまして」  
父「なんで…」  
ゆ「お茶でもいれます」  
父「ゆうちゃん…」



母NA「それは全国24000のネットワーク」  
ゆ「いい街ですよ、ここは」  
父「そう」



ゆNA「どこへいっても、ここに。ゆうちょ」

## 母からの電話編 (15・30秒)



息子「かあさん？」  
友人達「のんでー！」



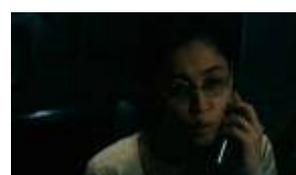
母「騒がしいのお」  
ゆ「騒いでまーす！」  
母「ゆうちゃんも？」



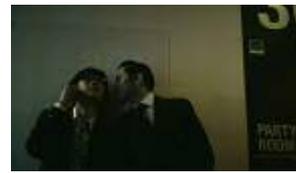
ゆ「リリリでーす！」  
息子「どしたん？」  
母「あんた仕事は？」



息子「川調！明日給料日じゃし」  
母「無駄遣いしよるんじゃろ」  
息子「心配いらんて」



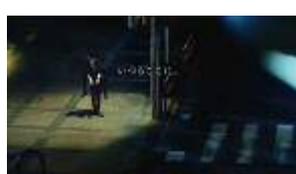
ゆ「この店飲み放題ですし！」  
母「ちいたお将来のこと」  
息子「考えとる」  
母「例えば？」



息子「例えば…」  
ゆ「（息子に耳打ちして）投資信託とか」



息子「トウシンタク」  
母「なにそれ？」  
息子「なにそれ？」  
ゆ（ため息）  
母（ため息）  
ゆ「私が教えますから」



ゆNA「初めての投資信託なら」  
息子「ゆうちゃん…」



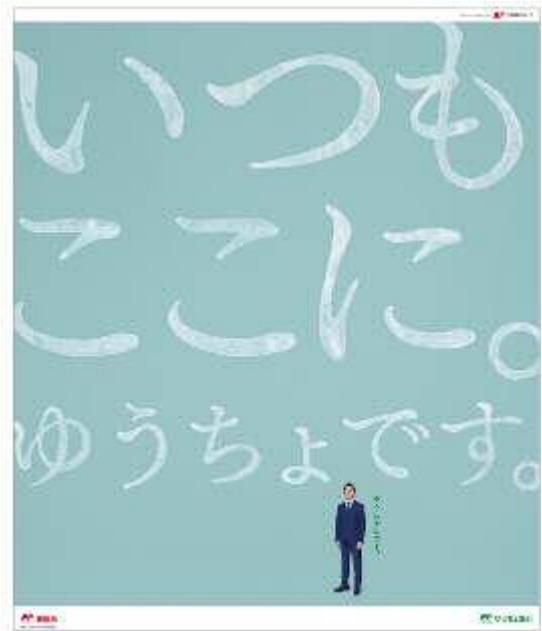
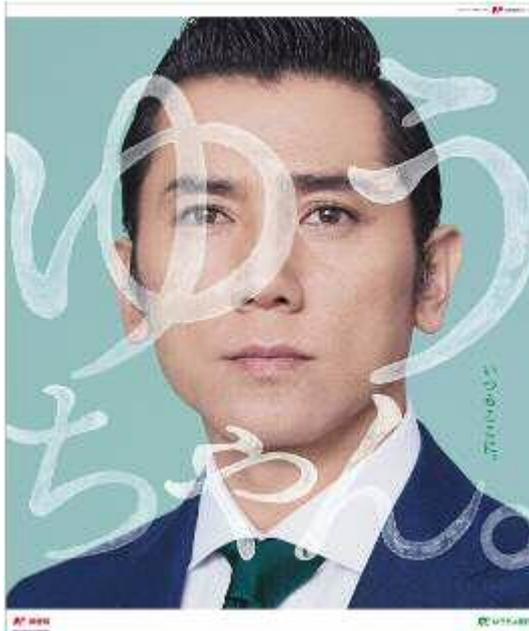
ゆNA「ここに。ゆうちょ」

## ■各種グラフィック広告について

本木 雅弘さん演じる「ゆうちゃん」の凛々しい表情に、「いつもここに。」のキャッチコピーが印象的なビジュアルなど、テレビ CM と連動した広告を、2016 年 6 月 13 日(月)から、関東エリア・近畿エリアを中心とした交通広告で展開します。

その他、全国の郵便局などで掲出する商品・サービスのポスターやリーフレット等の一部も、「ゆうちゃん」をキービジュアルに展開します。

### <交通広告>



### <ポスター>



### <リーフレット>



## ■出演者プロフィール



本木 雅弘（もとき まさひろ）さん

1965年12月21日生まれ、埼玉県出身。

1989年映画「226」デビュー。同作品で日本アカデミー賞新人俳優賞、映画「シコふんじゃった。」で同賞最優秀主演男優賞など多数受賞。

2008年自身が発案し主演した映画「おくりびと」は、日本初となる米国アカデミー賞外国語映画賞部門を受賞。2009年NHKスペシャルドラマ「坂の上の雲」で主演。

2015年映画「日本のいちばん長い日」、「天空の蜂」。

2016年10月公開「永い言い訳」。

## ■制作スタッフリスト

### 広告代理店

クリエイティブディレクター/CMプランナー

アートディレクター

コピーライター

プランナー/コピーライター

クリエイティブプロデューサー

キャスティング

キャスティング

プロデューサー

プロダクションマネージャー

監督

撮影

グラフィック撮影

照明

美術

コーディネーター

スタイリスト

スタイリスト

ヘアメイク

ヘアメイク

オフラインエディター

オンラインエディター

ミキサー

音楽

### 株式会社 電通

野崎 賢一

松下 仁美

佐藤 舞葉

明円 卓

住友 幸代

若穂 困 雅（電通キャスティング・アンド・エンタテインメント）

元川 益暢（ラパロ）

兼平 真樹（ギークピクチャーズ）

西沢 陽子（ギークピクチャーズ）

中島 哲也

今村 圭佑（VOYAGER）

青山 たかかず（アマナ）

中村 裕樹

桑島 十和子（サムシングエルス）

手塚 英一（GOOD DAY JAPAN）

島津 由行

申谷 弘美

佐藤 富太

山崎 聡

小池 義幸（リクリ）

柳川 瀬 雅英

太斎 唯

福島 節（Ongakushitsu Inc.）

### ■中島 哲也

映画監督、CMディレクター。1959年生まれ。福岡県出身。

CMディレクターとしてサッポロ黒ラベルなど多数のヒットCMを世に送り出し1987年からフリーに。

映画監督として2004年の「下妻物語」で注目されるようになり、

2010年の「告白」では日本アカデミー賞最優秀作品賞、最優秀監督賞、最優秀脚本賞を受賞。

2014年には「渇き。」の監督、脚本も手掛けている。

### ■野崎 賢一（電通）

クリエイティブディレクター、CMプランナー。1980年生まれ。京都府出身。

営業職、マーケティング職を経て、2009年より現職。

最近の仕事に、au「三太郎」シリーズ、家庭教師のトライ「教えて！トライさん」などがある。

TCCグランプリ、ACCゴールド、など受賞多数。